

■ 組合の概要

山梨県警備業協同組合

理事長 久保島 敏

組合員 16社

事務局 専務理事 1名 職員 1名

設立 平成10年 3月30日

官公需適格組合の証明取得 平成19年12月 9日

■ 共同受注事業

警備業法第2条第1項第2号(雑踏警備・交通誘導警備)
に規定する警備

■ 共同受注実績 (令和元年度)

20件 9,840万円 延べ4,110人

■ 主な共同受注業務 (令和元年度)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 4月 笛吹市桃源郷春まつり警備 | 8月 河口湖湖上祭警備 |
| 信玄公祭り警備 | 市川三郷町神明の花火大会警備 |
| 笛吹市桃の里マラソン大会警備 | 南アルプス山麓サマーフェスティバル警備 |
| 南アルプス桃源郷マラソン大会警備 | 笛吹市石和温泉花火大会警備 |
| 5月 スポニチ山中湖ロードレース大会警備 | 10月 甲州市かつぬまぶどう祭り警備 |
| 6月 西湖ロードレース大会警備 | 昭和町ふるさとふれあい祭り警備 |
| 7月 富士山警備 (7~9月) | 富士・鳴沢紅葉ロードレース大会警備 |
| 笛吹川県下納涼花火大会警備 | 11月 県民の日記念行事警備 |
| | 2月 甲府大神宮節分祭警備 |
| | 他 J A山梨の農業機械フェア警備 等 |

■ 官公需共同受注事業による効果

- 警備業界は慢性的な人手不足
- 組合員各社では警備ができない「短期間に多数の警備員を必要とするイベント警備」を組合が共同受注
- 山梨県(道路公社)からの富士山の夏季車両通行制限に伴う警備と市町村(実行委員会形式)からの花火大会・マラソン・お祭り等の警備
- 組合員各社でも警備員不足が深刻になり受注を断らなければならぬ物件もあることから、組合に対する共同受注の依頼も増加傾向
- 安心・安全のためにはコストがかかることが社会的に認知されつつあることから、組合の共同受注での警備単価もアップ
- 共同受注の単価アップが業界全体の警備料金のアップにつながる効果
- 共同受注は、組合員にとってなくてはならない事業となっている

■ 今後の動向と対応策

- 今年度は、新型コロナウイルス感染の拡大によりイベント等の中止が増え、共同受注件数(4～10月)は4件(前年同期比▲17件)
- 組合員各社の警備員不足を支援するために、警備業の資格取得のための講習会の受講料を組合の教育研修費として各社に補助
- 新型コロナウイルス感染症の終息にイベントが再開された時に備えて、より質の高い警備業務を提供するため、優秀な人材の確保と教育訓練の徹底が課題
- ◎ **組合の共同受注事業を通じた組合員各社の経営の安定のために、組合としてこれからも人材の確保と育成に努め、共同受注事業の維持・拡大を図っていく**